

長期ステロイド使用後の全身浸出を経て1年半で再就職した成人アトピーの経過 (25歳男性)

症例 ID：001-20-YT | 記録日：2016年2月24日

1. 診断・治療前経過

幼少期からアトピーがあり、小学生以降は外用薬と内服薬を継続しました。中学・高校では皮膚症状がほとんど目立たない時期がありましたが、大学入学後に再び悪化し、ステロイドの使用量が増えました。

飲食店勤務後は生活が不規則となり、顔の皮膚が黒くこけたように見える状態となりました。22歳の春に松本医院を受診し、従来ステロイドを中止しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期から顔や全身にステロイド外用薬を長期間使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	幼少期から22歳頃まで長期間です。
中止時期	22歳の治療開始時に中止しました。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～高校	来院前	外用薬と内服薬を継続し、皮膚症状が目立たない時期もありました。
大学入学後	再燃	アトピーが再び出て、ステロイド使用量が増えました。
22歳春	治療開始	従来ステロイドを中止しました。
開始約1週間	急性悪化	強いかゆみと痛みが出ました。
開始1週間～1か月	浸出	掻き傷から浸出液が出て、睡眠と仕事に支障が出ました。
開始1か月～半年	症状の強い時期	浸出液が増え、寝具や衣類の交換が必要でした。
開始半年～1年半	休職	休職して治療に専念しました。
開始約1年半	社会復帰	強いかゆみとじゅくじゅくした状態、浸出液がほぼなくなり、再就職しました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始から半年～1年半頃に全身のかゆみと浸出液が続き、衣類や寝具の交換が必要となり、休職して治療に専念した時期です。

5. 困りごと

- 夜間に眠れず、仕事で十分な動きができない状態が続きました。
- 浸出液により衣類や寝具を何度も交換する必要がありました。
- 症状が長期化し、休職して実家で治療に専念しました。

6. 経過のまとめ

治療開始約1年半頃には、全身の強いかゆみ、じゅくじゅくした皮膚、浸出液がほぼみられなくなりました。その後は再就職して社会生活へ戻り、治療を継続していました。

本ページは患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の結果を保証しません。